

わ

く

わ

く

6月号



本 だ な

1

2

3

年



えほん



E『いのちの水 ^{みず}ブルガリアの昔話 ^{むかしばなし}』

八百板洋子／再話 ベネリン・バルカノフ／絵 福音館書店
王さまが3人の王子に、<いのちの水>をみつけたものに国をゆずる、
といました。その水は、えいえんのいのちをあたえてくれるというの
です。つぎの日、3人はさっそくたびにです。すえの王子がみちをす
すんでいくと、ほらあなからでられなくなったドラゴンがいました。

K913『たんじょうびはジェットコースター』

こすぎさなえ／作 長谷川義史／絵 PHP研究所
しゅんは、もうすぐ7さい。たんじょうびには、かぞくでドリームラ
ンドへ行くやくそくをしています。いちばんたのしみなのは、大すきな
キャプテンズのキャラクターとあくしゅして、しゃしんをとること。
それなのに、ねつがでたしゅんは、るすばんをすることになりました。

ものがたり



K913『クロケのジャムとももふか草 ^{そう}』

島村木綿子／作 北村裕花／絵 国土社
くだものやのねこのクロケは、にんげんにはひみつの「モフカの庭」
でジャムをつくっています。ねこたちにひょうばんのげんきになるジャ
ムには、庭にさくももふか草がかかせません。ところが、そのたいせつ
なももふか草がかれてしまい、クロケは山へさがしにいきます。

ものがたり

E『お祭りが大好き ^{まつ}パヤベくん ^{だいす}パプアニューギニア』

長倉洋海／著 アリス館
パヤベくんは、パプアニューギニアにつたわるお祭りにはじめてさん
かします。きいろいおけしょうをして、大人たちといっしょにおどりの
れんしゅうをしました。お祭りの当日は、たくさんの人がカラフルない
しょうをきて、ひろばにあつまります。

ちしきのほん



としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200

わ

く

わ

く

6月号

本

だ

な

4

5

6

年



物語

K913 『 げたばこかいぎ 』

村上しいこ／作 高島那生／絵 PHP研究所

ある夜、はるとはふしぎな声で目を覚めました。はるとのスニーカーが、はるとを起こしたのです。スニーカーについていくと、げたばこの中でくつたちが会議かいぎをしていました。くつたちは、パパのくつがくさいので、はるとからパパにつたえてほしいとたのみます。

でも、はるとはパパがきずつくと思い、くつのことを言い出せません。すると、くつたちがパパに悪さをしようとします。



物語

K913 『 コカチン 草原の姫、海原をゆく 』

佐和みずえ／作 トミイマサコ／絵 静山社

コカチンは、モンゴルの皇帝フビライ・ハンのむすめです。皇帝に愛され、のびのびと育ってきたコカチンですが、同盟国の王様とけっこんすることになってしまいました。

自分の運命を受け入れたコカチンは、同盟国の使者たちと海をわたり、王様のもとへむかいます。旅のとちゅうには、海ぞくや鬼女きじょがつきつきとあらわれます。



ちしきの本

K576 『 和ろうそくは、つなぐ 』

大西暢夫／著 アリス館

日本で作られる和ろうそくは、昔からの技術ぎじゆつで、職人が一本一本手作りしています。ろうの原料は、ハゼの木の実をしぼったもの。しぼりカスは、藍染職人のもとに届けられ、藍を作るための燃料になります。さらに、藍を作るときに使った木の灰はいは、小鹿田焼おんたやきの職人が器にぬるうわぐすりの材料に使うそうです。

和ろうそくの材料をたどると、ものづくりには大きなつながりがあることがわかります。



図書館のまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200